

# 市政を問う

## 代表質問



3月定例会における「市長施政方針」に対し、3月1日に5会派が代表質問を行いました。  
各派代表議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



市長施政方針演説  
(YouTube)

市政を問う

代表質問 (質問議員が執筆しています)

これまで検討した上で、実施しない選択をし

**問**  
子育て支援に関して、子ども医療費の完全無料化や第2子以降の保育料、中学校給食費などの無償化など先進事例を参考に導入を検討してはどうかですか。



スタートアップ企業が持つ先端技術を活用することで、地域課題解決につながる可能性には期待をしています。大学との連携も視野に入れ、愛知県のステーションA事業の情報も収集しながら、地域課題の解決とスタートアップ企業の育成にチャレンジしていきます。

**問**  
「スタートアップ」について、半田市としてどう取組んでいきますか。また、日本福祉大学と連携してはどうかですか。

創造みらい半田  
芳金秀展




**問**  
産業振興会議で検討されてきた事業の方向性と中長期での成果のイメージを教えてください。

短期的な取組みとしては人材獲得のための分科会を立ち上げ、質の高い働く環境を目指すための施策に取組んでいきます。また、若手事業者の可能性を高め、新分野でのビジネスを創造するために未来志向の勉強会を立ち上げます。成果は概ね5年から10年にかけて、目標である「事業者を元気にする」に近づきたいと考えています。

**問**  
行政が取組む事業についてのコスト認識を伺います。

志民ネット  
小栗佳仁




過剰な利用による健康被害やコミュニケーションのトラブルの増加など、弊害を危惧する声も聴かれます。  
そこで、学校では児童生徒がデジタル技術を使

**問**  
小中学生のタブレット導入により危惧される問題と幸せになるための教育についての見解を伺います。

物価高騰が続く中、市民の皆様から大切なお金をお預かりしている事を肝に銘じ、今まで以上にコストを意識し、事業の取捨選択も視野に入れる必要があると認識しています。職員一人ひとりがコスト意識を持って事業に取組むことを改めて徹底していきます。

**問**  
公用車の電動車購入について伺います。

2030年までに電動車を50%以上にする目標については、EVに特化したものではなく、ハイブリッド、燃料電池など自動車の特性を踏まえて導入していくものです。今後も社会情勢や開発状況等を見極めながら、災害時の活用なども総合的に判断し、カーボンニュートラルに向けた公用車の導入を推進していきます。

